

平成28年度 第5回公立大学法人公立鳥取環境大学教育研究審議会 議事要旨

- 日 時 平成29年3月16日(木) 10:00～11:30
- 場 所 大会議室(本部講義棟3階)
- 出席者 高橋一委員、今井正和委員、富岡庄一委員、岡崎誠委員、吉永郁生委員、齊藤明紀委員、片木威委員、角紀代恵委員、田中仁成委員、中島廣光委員、
[10名/15名]
- 欠席者 遠藤由美子委員、小林朋道委員、北崎寛委員、木下法広委員、山本仁志委員

【議事】

1 前回議事要旨の確認

原案のとおり承認された。

2 審議事項

(1) 平成29年度 年度計画について

学長から、平成29年度の年度計画案について説明があり、委員からの意見を参考に一部修正することとして了承された。

<主な意見>

- ・保護者に成績を通知するとのことであるが、成人している学生の場合、個人情報保護の観点から、本人の同意をとっておく必要があると考える。
- ・定員管理に関する計画の中に、「大学設置基準で定められている教員数を確保し」の記載があるが、当然のことであって、記載の必要はないのではないか。

(2) 公立鳥取環境大学履修規則等の一部改正について

学長から、科目配当年次の変更等に伴い大学、教職課程及び大学院に係る履修規則を改正する旨の説明があり、原案のとおり了承された。

(3) 公立鳥取環境大学の3つのポリシーの策定について

学長から、公立鳥取環境大学の3つのポリシーの策定について説明があり、原案のとおり了承された。

(4) 公立鳥取環境大学名誉教授称号の授与について

学長から、名誉教授称号の授与1件について説明があり、了承された。

3 報告事項

(1) 近況報告

学長から、入試実施状況や就職活動状況など大学の近況について報告があった。

<主な意見等>

- ・この度の県内学生への生活支援制度の影響はどうか。
→ 全体では、県内、県外ともにほぼ同じ割合で受験者が減少しているが、県西部地区の受験者が僅かながら増えた。制度の創設時期が入試の間際で既に進路を決めていた学生も多かったと推察している。来年度の結果を見て分析したい。
- ・県内製造業への就職が少ないように感じる。学生、企業双方へのPRが足りないのではないか。

→ 鳥取県の地域インターンシップ協議会等を活用して、PRに取り組みたい。

- ・ここ数年本学の就職状況は飛躍的に良くなっており、好感を持ってきている。もともと県内者が少ない中で一定の県内就職者があり、県外企業であっても県内で勤務することが推察できる企業もある。一步一步前進している印象を持っている。

(2) 専任教員の昇任について

学長から、専任教員の昇任1件について報告があった。

(3) 平成29年度教学体制について

学長から、平成29年度から副学長の担当事務を見直すなど教学体制の変更について報告があった。

(4) 平成28年度補正予算（第4回）について

岡部事務局長から、共同受託事業費の増などに伴う補正予算案件について報告があった。

(5) 翌年度以降の債務負担行為について

岡部事務局長から、平成29年度事業の印刷物発注等に係る債務負担行為案件について報告があった。

(6) 平成29年度当初予算について

岡部事務局長から、平成29年度当初予算について主に前回審議会からの変更点の報告があった。

(7) 公立大学法人公立鳥取環境大学組織規程の一部改正について

学長から、平成29年度に事務局組織の名称変更や所管事務の見直しを行う旨の報告があった。

4 その他

平成29年度の審議会日程案について報告した。

5 閉 会